

グループ討議における意見に対する対応方針等一覧

道の駅の建設について	
市政懇談会での意見(要約)	対応方針等(回答担当部署)
・ 建設費と維持費がどの位になるのか、また、誰が負担をするのかわからない。 ・ 道の駅は必要な施設だと思う。 ・ 道の駅を作るにしても、建設場所を十分検討しなければならないと思う。 ・ 始めから道の駅として作っているところは少なく、既存施設に手を加えて道の駅にしているところが多いのでは。 ・ 初めは小さい規模でも良いから必要だと思う。その状況で判断する方法もあるのではないかな。 ・ 留萌は国道が3本通っているの、その点からも難しいのではないかな。 ・ 市の財政状況や物販による商店街への影響を考慮した場合、現段階では必要ないと思う。	道の駅建設につきましては、市民の皆さんから様々な意見をいただいているところであります。財政の健全化に取り組んでいる現状においては、新たな施設の建設は難しい状況にありますが、皆さんからいただいた意見を参考に、慎重に検討してまいります。 [政策経営室企画調整課]
・ 駅前にお勝手屋「萌」をもっと支援して発展させ、また、整備された留萌駅の広場も有効活用されても良いのではないかなと思う。	「おみやげ処お勝手屋萌」は、現在、NPO法人留萌観光協会の運営のもと、留萌の特産品や留萌産食材などを活用した新商品の販売や観光案内機能を有するアンテナショップとして観光客はもとより多くの市民の皆さんにもご利用いただいております。また、今年度整備された留萌駅前の広場につきましても、いくつかのイベントが開催されております。 市といたしましても、「お勝手屋萌」、本年開駅100周年を迎えた「留萌駅」、「エフエムもえる」など、留萌の情報発信機能が集まる留萌駅周辺の有効活用につきましても、留萌観光協会等と連携しながら取り組んでまいりたいと考えております。 [産業建設部経済港湾課]

新しい名産品の開発及びPRについて	
市政懇談会での意見(要約)	対応方針等(回答担当部署)
・ 特産品は、一般市民が手の届く値段の物を開発しないと売れない。	特産品開発につきましては、基本的には企業が各々取り組んでおり、また、市においては平成22年1月29日に道立食品加工研究センターと連携協定を締結し、特産品開発に取り組んでおります。特産品の販売推進のためには、適正な価格設定が必要と考えております。 [産業港湾部農林水産課]
・ 数の子生産日本一というキャッチフレーズ、実績があるのだから、やはり数の子のメインというのは外せない、数の子の代替というのは逆に考えない方が良く思う。	留萌の歴史を顧みますと、水産加工業を基幹産業にニシンや数の子とともに発展し、数の子は全国に誇る留萌の特産品であります。 しかしながら、現在、数の子以外の特産品開発も多々行われ、消費者の嗜好の多様化への対応が必要であると考えております。 [産業建設部農林水産課]

商品開発は、いかに付加価値を付けるかということだと思う。東海大学と取り組んでいる養殖に関する事業に目を向け、留萌は数の子生産日本一イコール養殖事業もすごいですよという、官民と学の一体となったものも必要でないかと思う。	現在、東海大学・新星マリン漁協との共同研究によりナマコを中心とした増養殖に取り組んでおりますが、将来的に資源の増大や適正な資源管理により、安定的な漁業生産を確保してまいりたいと考えております。 [産業建設部農林水産課]
内陸の人には水産物の人気があるので、売り込むとしたら水産物がいいのではないかと。あと、お米も人気が出てきている。	「うまいよ！ るもい市」におけるアンケート調査では、水産物を求めて来場する人が圧倒的に多い状況であり、ウニやホタテ、カレイの袋詰め放題がイベントの目玉になっております。また、高品質米として評価の高い南もい産米につきましては、消費拡大及びブランド化を目指しPR事業に取り組んでおります。 [産業建設部農林水産課]

プールについて	
市政懇談会での意見(要約)	対応方針等(回答担当部署)
海のないまちでもないのに、プールも新しく作らなくても以前のプールを補修すればよかったのではないかと。	青少年プールの老朽化などにより、平成2年に、留萌体育協会や留萌水泳協会等市内の多くの団体による「温水プール建設促進に関する陳情書」が、留萌市に提出されました。さらに、平成3年には、留萌市議会議長あてに、「温水プール建設促進に関する請願」がなされ、市議会において採択されております。これらの陳情・請願には、「通年使用できるプール」「成人向けと幼児用プール併設」、「公認プールであること」「アスレチックなどの併設」などが要望事項となっております。 この後、温水プールの建設を検討するために、水泳協会役員を始めとする市民各層から推薦された19名の委員からなる「留萌市温水プール建設等懇話会」が平成4年に発足し、およそ8年間という長きにわたる議論を行ってきたところであります。さらに、平成9年には留萌水泳協会から「温水プールに係る要望書」の提出を受け、議論に議論を重ねた結果、最終的に現在の場所、形態となったものでございます。 新・財政健全化計画により、平成21年度から7年間の休止となりましたが、子どもたちの健全な育成や市民の健康増進のためには必要な施設であると考えております。温水プールの再開にあたっては、財政の状況をみながら考えなければなりません、少しでも早い再開に向けて全力で財政の健全化に取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。 [教育委員会生涯学習課]
プールを建設する時に、近隣の町や水泳協会などの当事者ともっと相談をするべきではなかったのかと思う。	
規模や構造に計画性がない。建てた後何年もしないうちに閉鎖するのであれば、やらない方が良かったのではないかと。	
子どもたちも頑張っ、良い選手も育ててきて、本当はそういう青少年の育成とかが大事ではないか。できるなら子どもたちの環境や教育のために、少しでも早く戻してやってほしいと思う。	

子どもの環境について	
市政懇談会での意見(要約)	対応方針等(回答担当部署)

・ 障害のある子どもたちの情報が不足していると思う。	発達に遅れのある(疑いのある)子どもの子育てに不安や悩みを持つ保護者に対しては、子育て支援センターなどで相談窓口を設けているほか、保健師の訪問時や乳幼児健診時などでも相談を受けられる体制を整え、状況に応じて必要な情報提供を行い、特に留萌市幼児療育通園センターでは、「発達支援センター」として障がい児やその保護者からの相談に応じているほか、学校などの関係機関との連携等も図っています。 今後も関係機関と連携を図るとともに、相談窓口の周知に努めてまいります。 [健康福祉部児童家庭課]
・ 子どもやスキー人口が少なくなっているが、学校でのスキーを全く無くするのともうどうかと思うので工夫は必要だが、縮小してもやむを得ないのではないか。	スキー授業については、学校ごとに工夫をしながら実施しておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。 [教育委員会学校教育課]
・ スキーの器具の負担を軽減するために、使わなくなった器具を市なり学校で預かり、リサイクルの取り組みを進めてはどうか。	使用されなくなったスキーのリサイクルについては、今年度から留萌市PTA連合会主催で保護者間で取り組んでおり、今後も継続することとしております。 [教育委員会学校教育課]
・ 公園に遊具がなく、トイレや水道も閉鎖されているので、遊べる状況でない。	財政の健全化が終了した時点で、利用状況を調査し閉鎖した「トイレ」・水飲み場の利用の再開について検討していきます。また、遊具についても同様に規模の小さな公園(錦町公園、ひまわり公園等)の利用状況を考慮し、遊具の設置について検討します。中規模の公園(高砂公園、潮静公園等)や大きな公園(神居岩公園、浜中運動公園、見晴公園)は、「公園長寿命化計画」を策定し、計画的に遊具等を順次更新していきます。 [産業建設部都市整備課]
・ 地区の子どもの数や遊具とかの維持費も考えると、遊具とかの遊ぶものは高砂公園とかの大きな公園にして、地区の公園は広場的な遊び場で良いのではないかと思います。	小山(突山)については、子どもが色々な使い方を創造して遊ぶように、人工的に作ったものです。草刈等の作業は行いづらいと思いますが、設置している理由をご理解いただきたいと思います。 [産業建設部都市整備課]
・ 公園に防犯灯がないので、夜に青少年が来てベンチに座り遅くまで話をするといったことが心配で、公園は市の施設なのだから小さい防犯灯を一つでも付けてくれると違うと思う。	防犯目的で道路に設置する街灯は、各町内会で設置していただいています。公園内の施設として照明灯の設置が必要かどうかを検討していきたいと思っています。 [産業建設部都市整備課]

市立病院について	
市政懇談会での意見(要約)	対応方針等[回答担当部署]
・ 納得できないことを、窓口で説明を求めても説明できないなどがあるので、窓口の対応をしっかりともらいたい。	新しい制度導入時には、職員ミーティング等を通じ、職員自らの理解を深めたいと、患者様への説明にあたるよう努力しているところであります。 今後におきましても、定期的な職員研修や確実な事務引き継ぎを心掛け、患者様に誤解を与えることがないよう十分な説明を心掛けてまいります。 [市立病院事務部医事課]

・ 患者が気持ちよく行くことができるよう職員の対応も充実させてほしい。	患者様へ対応につきましては、院内にCS（顧客満足度）委員会を設置し、外来待ち時間の短縮、病院給食改善、接遇改善、地域住民交流、広報活動の取り組みを行っております。 特に接遇研修は、毎年講師を迎え実施してきており、今後も窓口対応職員も含めた確な説明と接遇改善に努力してまいります。 [市立病院事務部総務課]
・ 看護師も一生懸命やってくれて、最近の市立病院の状況はいいと思います。	留萌市立病院改革では、患者中心の医療の推進を掲げ、この間、職員の意識改革を行ってまいりました。この効果が少しずつ現れてきたものと感じております。 看護師不足で、患者様への対応についてご迷惑をかけている部分もあるかと思いますが、今後も地域に根ざした病院づくりに努力してまいります。 [市立病院事務部 総務課]
・ 出産の場合、まだ安心して留萌でできる状況ではなく、ぜひ体制を充実してほしい。	留萌市立病院産婦人科は、現在留萌管内唯一の分娩施設として、地域の皆さんが満足できる安全で幸せなお産を目指し、常勤医師1名と非常勤医師1名の2名で24時間365日、全出産に産婦人科医が立ち会う体制をとっております。 万が一、緊急に帝王切開になるような場合でも産婦人科医、外科医、麻酔科医、小児科医等万全の体制を備えており、また、特別な合併症等により当院での出産が困難な場合におきましても患者様と相談の上、適切な医療機関への紹介を行っておりますので、安心して受診いただきたいと思います。 今後につきましても、現在の診療体制の維持、強化を目指し努力してまいります。 [市立病院事務部医事課]

税金・公共料金・雇用について	
市政懇談会での意見(要約)	対応方針等(回答担当部署)
・ 雇用は難しい問題で、今働いている人たちも死活問題だ。大きな企業があるわけでもなく、今ある部分も公務員もどんどん縮小されて若い人の受け皿がない。	全国的にも若年層を含む雇用情勢は厳しく、北海道は都市圏を除き、経済や雇用の状況回復は本州と比べて非常に遅れております。 人口の減少や景気の低迷により企業も経営の縮小・業務の見直し・撤退・廃業などの状況があり、市内の雇用環境は厳しい現実となっており、このことが働く場所がないから人口が流出し、人口減によりまた経済が冷え込み、経済の低迷により雇用が生まれない…といった負のスパイラルに陥っている状況になっております。
・ 大きな問題として、若者が留萌市に定着するための雇用の場がなく、高校の卒業生が留萌で働ける就業の受け皿づくりが一番重要なことではないか。	このような状況を打破する特効薬はありませんが、国や道の施策を的確に捉え、地域の再生に繋がる事業を進めながら、一人でも多くの雇用が実現されるよう各方面に働きかけてまいりたいと考えております。また、企業の異分野進出や起業による活性化についても応援してまいりたいと考えております。 [産業建設部経済港湾課]

・ 留萌市はおいしい水を飲めることは幸せなことと思うけど、もう少し安かったらと思う。	今後も、市民の皆さんが安心して飲むことのできる「おいしい水」を安定的に、適切な負担で供給するため、効率的な施設整備、経営体制に努めてまいります。 [市民生活部上下水道課]
・ 上下水道料金も値上げされた時は高いと感じるが、人間慣れてしまう部分もあり、値上げしたなどの効果を見せていただければ良いと思う。	老朽化した施設の改修や管網整備による稼働中施設の継続した運転により、今後とも、安全で安定した水道水の供給や、都市環境の保全を図ってまいりたいと考えておりますので、ご理解いただきたいと思います。 [市民生活部上下水道課]
・ ゴミについては、他市町村と比べて高いかもしれないが、町内はすごくきれいになってきているし、後からそのような納得のできる結果を見れば理解してくれると思う。	ごみ手数料の改定に伴い、市民のごみ排出抑制の高まりが図られたことにより、ごみの量が減少しております。 今後ともごみ減量化を推進していくため、引き続き広報紙、美サイクル館だよりを通じて更なるごみの減量化に向けた啓発を推進してまいりたいと考えております。 [市民生活部生活環境課]

住む人にやさしくない街に住み続けるかについて

市政懇談会での意見(要約)	対応方針等[回答担当部署]
・ 山や海があって良い所で生まれ育った土地だから離れたくないが、まず仕事場が少ないから、結局は背に腹は代えられなく、自分もし働く所がないのであれば考えてしまう。	雇用についての対応方針は、「税金・公共料金・雇用について」の欄をご覧ください。 [産業建設部経済港湾課]
住みたくても就労する場所がなくて住めないといった状況を改善しないと、住めない状況になっていくのではないかと。	
・ 財政健全化のため、市内全般の土地の価格が下がっているにもかかわらず、固定資産税が下がらないことは不満である。	「新・財政健全化計画」により、平成21年度から固定資産税の税率を1.4%から1.5%に引き上げさせていただきました。 土地の固定資産税の評価額につきましては、原則としては平成21年度の価格が3年間据え置かれますが、ご指摘のように土地の価格が下がっておりますので、平成22年度には評価額の見直しを実施しております。 平成23年度につきましても、土地の下落状況が続いているため同様の措置を実施する予定であります。 [総務部税務課]

・ お金をかけるところにはかけ、削るところは削るというのは結構であり、無駄をなくすというのはいいが、必要なものまで削っているのではないかと思う。財政の回復の見通しも市民に伝えていないと思うし、伝えればこういう問題は出てこないと思う。	事務事業の廃止・削減・見直し作業については、市の全事業にわたって検討し、優先順位を決めて実施しておりますので、ご理解をお願いいたします。 また、現在取り組んでいる新・財政健全化計画は、平成21年度が初年度でありましたが、今年度の市広報10月号・12月号では計画初年度の決算状況等について説明しており、6月の市政懇談会においては決算見込について説明させていただきました。 今後におきましても、より分かりやすい広報に努めてまいりたいと考えております。 [政策経営室財務課]
・ 税金を代表にした話になっているが、その他のもの何もないから住みたくない、希望がないという、税金と言うよりも、何もなにもしない、何もできない市に対して言いたいのではないか。	財政の健全化にあたって、市民の皆さんには税をはじめ、様々な分野において、ご負担、ご協力をいただいております。 財政が厳しい中にあっても、市民との対話を重視し、協働を進める中で、経済の活性化や雇用の確保など、まちの元気に繋がるような取り組みを進めてまいります。 [政策経営室企画調整課]

商店街について	
市政懇談会での意見(要約)	対応方針等(回答担当部署)
・ 商店街について市はどういう考えを持っているのか。	商店街は市民の消費行動を喚起誘導し、消費の利便性を提供する市民の台所としての機能を有しておりますが、近年は郊外型大型店の進出や交通事情の進展、コンビニやドラッグストアの台頭、消費行動の多様化(ネット販売)などにより消費が市外に流出していることが顕著となっております。また、後継者の不足や経営不振など、廃業による空き店舗が発生するなど、商店街の形成も難しくなっております。 現在、市内中心市街地は人口の減少や大型郊外店の進出、更にはラルズプラザの撤退など活気低迷の状況にあります。 市といたしましては、各商店街や商店街振興組合連合会が中心となった「がんばり」に期待しているところでありますが、商工会議所などとも連携し、今後の商店街のあり方についてきちんとした議論を展開していかなければならないと考えております。 また、るもいプラザを活用したイベントや賑わい創出への取り組みに対しましても、今後も支援をしてまいりたいと考えております。 [産業建設部経済港湾課]
・ 商店街の魅力づくりには各店の専門性が必要であり、市がすることではない。商店が必死になってないように感じ、集客について市を頼りにするのはよくない。	
・ 街の中には駐車場が必要であり、この車の時代に駐車場を整備していかなければ街の中は寂れる一方になってしまうと思う。	
・ 長い商店街が集合(集中)した商店街や各店が集まって一体型の商業施設をつくるといった仕組みづくりが必要だと思う。	
・ 今後は高齢者の動きを考えていかなければならない。	
・ 旧生協の跡地、旧サンドール跡地、市営球場を使った催事も考えるべき。街の中でやることによって、商店街にも人が流れる。	

・ 年寄は行きたくても行けないので、港でやっている「うまいよ！るもい市」を街の中でできないのか。	「うまいよ！るもい市」につきましては、地元産品の販売やアトラクションなど参加団体をはじめとする皆様のご協力により、市内外から多数のお客様が来場するイベントへと成長いたしました。 このようなことから、開催にあたっては広い駐車場や海水が必要不可欠であり、現在と同規模の駐車場や海水の確保など、街中での開催のためには多くの課題があるため、今後の検討が必要であると考えております。 [産業建設部農林水産課]
--	--

転入者が気軽に参加できるコミュニティについて

市政懇談会での意見(要約)	対応方針等(回答担当部署)
・ 転入してきた人は町内会長などが説明をして加入を呼びかけているが、義務が発生するのを嫌がり町内会に加入しない。アパート住まいの人などは縛られるのが嫌ようだ。	市では、転入者が市民課窓口での住民届けの際、町内会への加入をお願いするチラシをお配りし、町内会の意義について啓蒙・周知しております。 また、町内会の活動であるクリーンステーションの管理、防犯灯の維持管理、ごみ拾いなどの環境整備活動などを粘り強く訴え、町内会への加入を促進し、その際には、市では「加入促進チラシ」を町内会に配布しております。 [市民生活部生活環境課]
・ 町内会に入らなくても自分は留萌市民で税金も納めているのにごみステーションを使わせないのかと、権利は振り回すが義務は果さないというように、平たく言えばわがままな人種が増えてきたのかなという感じはします。	

町内会活動について

市政懇談会での意見(要約)	対応方針等(回答担当部署)
・ 町内会の役員の成り手がなく、もう少し若い人たちに関わってほしい。役員が少ないので、一人が抱える仕事も多いのが現状である。また、町内会の中での協力体制が乏しく、役員任せの状況になってしまっていることが悩みである。	町内会実態調査アンケートでも、役員の担い手不足が87.6%、役員の高齢化が79.3%、町内会活動のマンネリ化が77.7%と、多くの町内会共通の悩みが指摘されております。 今後も、広報や町内回覧を利用して、町内会の必要性や社会的意義について多くの市民の皆さんの理解を高めてまいります。 また、一方通行のお願いを慎み、町内会と十分に協議し同意をいただきながら各種取り組みを進めてまいります。 町内会実態調査アンケートでも、市からお願いしている広報紙の配布、各種委員の推薦、会議等への参加取りまとめなどについて、その必要性は認識いただいているものの、多くの町内会で負担感を持っている実体が明らかになっております。 今後におきましても、さらに丁寧に説明し、町内会の充分な同意をいただきながら進めてまいります。 [市民生活部生活環境課]
・ 市がいくら情報提供したりお願いしたりしても、町内会が付いていけない状況がある。町内会も高齢化で、若い人にも参加してもらい、まずは町内会の活性化をしなければならないのではないか。	
・ 色々な委員の依頼が来ると、結局役員に割り振りするしかなく、過重負担となりよけい町内会役員の成り手もいなくなってしまう、やる人が限られている中では困っているのが現状。	
・ 町内会に色々なものを求めるのが多すぎるが、具体的な方法を提示して皆さんの負担を軽減させるというやり方も必要だと思う。一方通行的な感じがする。	

・ 市の職員がもう少し明るくして、町内会の一員として市政懇談会にも参加をしたり行事に参加をしたりしていけば変わってくると思う。	現在、既に100名ほどの市職員が町内会の各委員の任についております。 [市民生活部生活環境課]
---	--

港の利活用について

市政懇談会での意見(要約)	対応方針等[回答担当部署]
・ 商工会議所の駐車場の壁を取ったりして良くなっているが、港から街への道路整備をし、また、船場公園周辺の道路整備も行ったほうが街の活性化に繋がるのでは。	港湾空間の利用方針を「物流関連」「漁港」「海洋性レクリエーション」に、それぞれゾーン分けした留萌港利活用計画を策定しており、その中で親水性機能を持たせたゾーン整備を考えております。 連携を持たせた整備や活性化に資する施策事業を念頭に置きながら、まちなかへの誘導や道路網の整備についても今後考えてまいります。 [産業建設部経済港湾課]
・ 青年会議所青年部で旧北海道合板を利用して全道大会を行ったが良かったと思う。	これからの利活用につきましても、市街地の中心部にある大きなスペースとして賑わいの創出に資する活用を考えており、市民団体やまちづくり団体等が使いやすい場となるよう協議してまいりたいと考えております。 [産業建設部経済港湾課]
・ マリンレジャー的な部分を整備したほうが良いと思う。	海洋レクリエーション需要の増大に期待を寄せているところではありますが、若者の海離れも進んでいると聞いております。 これまでも、ゴールデンビーチや浜中海岸の整備を行っており、港湾における快適な環境創造を図るために港の持つ魅力や親水性に配慮した緑地等を整備していきたいと考えております。 [産業建設部経済港湾課]
・ 港にお金をかける意義、必要性があるのか疑問だ。昔は必要があったかもしれないが、将来に対する見通しが甘かったのではないか。	国際情勢や、それらを原因とする経済状況の予測がつかないこともありましたが、国内の港湾状況や物流の体系が変わってきたことも港湾整備を進める上で大きな影響を及ぼしており、また、港湾整備には国の事業仕分けもあり、選択と集中のなかで新たな事業への投資は難しい状況となっておりますが、現在の留萌港は施設の老朽化が進んでおり、港湾内の静穏度向上とあわせて老朽化対策等港湾機能の改善が必要となっております。
・ 農産物でも保管する倉庫をもう少し作らなければ、地方から持ってきても保管する場所がなければだめだと思う。	取扱量の増減は港湾活性化の目安の一つではありますが、留萌港背後圏や道内、国内の体力回復に左右されることが大きく、農産物については、全道生産のうち留萌港でどれくらいの量を確保できるのか、また、その量により収益性が確保できるのかも事業者として見極めなければならず、国内の体力回復とともに需要の増加に期待しているところでございます。 [産業建設部経済港湾課]

・ 港は、大きいものを造って維持管理が負担になってくるが、港を活かして企業を誘致することはできないのか。現状ではせっかく投資をした港が活用されていない。	民間、官公庁協力の下、ポートセールスを行っておりますが、企業の体力や経営方針が誘致には大きな要因となっております。 留萌港への企業誘致活動として、国土交通省のホームページに三泊地区の造成地情報を掲載、港湾事業所からの紹介などによる情報交換等を行っておりますが、なかなか留萌市に進出するところまでに至らないのが現状であります。 昨今の経済情勢等により、非常に苦慮しているところでありますが、誘致活動は根気よく継続してまいりたいと考えております。 [産業建設部経済港湾課]
---	--

留萌の特色を活かしたまちづくりについて

市政懇談会での意見(要約)	対応方針等[回答担当部署]
・ 石で囲ったプールを作り、子どもたちが海の生き物に触れてる体験をしてみよう。	過去に、黄金岬において岩で囲んだ海のプールを造った経緯がありますが、冬の荒波の影響などによりプールの形を維持するのが難しいことから、現在は自然のままの岩場で海の生き物の観察や磯遊びを行っていただいております。 なお、教育委員会による「磯のいきもの観察会」などの事業も行っており、今後も子どもたちに留萌の海を体験してもらう機会を設けてまいりたいと考えております。 [産業建設部経済港湾課]
・ 今はCCZの所がメインになっているが、お客さんや子どもを連れて行くのに、駐車料金がかかってしまうと連れていく気持ちになれない。	市内唯一の海水浴場である「ゴールデンビーチるもい」と「浜中海浜公園」につきましては、施設の維持管理やゴミ処理などに多額の経費がかかることから、現在、駐車料金を負担していただき施設管理経費の一部に充てております。 平成21年度からは指定管理者制度を導入し、民間のノウハウを取り入れた管理運営やサービスの充実を図っているところであり、この度お寄せいただいたご意見等を踏まえながら、今後もより利用しやすくご満足いただける施設運営に努めてまいりたいと考えております。 [産業建設部経済港湾課]
・ 浜中は遊泳禁止でも砂地で子どもが遊べるように工夫できないものか。料金は整地とかを考えると仕方ないと思うが、小さい子どもを連れて砂地で遊ぶ何かがあればいいと思う。	留萌市立病院の経営の悪化が、留萌市全体の財政に危機的な影響を与えたことから、平成21年1月に「新・留萌市財政健全化計画」と「留萌市立病院改革プラン」を策定し、財政の健全化を図ることいたしました。 策定にあたりましては、市民の皆さんに危機感を共有していただき、地域医療の確保について、ご理解をいただいたことに感謝しております。 今後も、市民の生命と健康を守り、良質で適正な医療を提供するために、「健全化計画」と「改革プラン」の着実な実行に取り組んでまいります。 [市立病院事務部医事課]
・ 全国の自治体病院が危機的状況にある中で、留萌市がいち早く経営改革に取り組み、ある程度の不安を解消する方向に持っていけたということは、まちとしてはすばらしい特色ではないかと、そのような取り組みがよくそこまでやれたと思っている。	留萌市立病院の経営の悪化が、留萌市全体の財政に危機的な影響を与えたことから、平成21年1月に「新・留萌市財政健全化計画」と「留萌市立病院改革プラン」を策定し、財政の健全化を図ることいたしました。 策定にあたりましては、市民の皆さんに危機感を共有していただき、地域医療の確保について、ご理解をいただいたことに感謝しております。 今後も、市民の生命と健康を守り、良質で適正な医療を提供するために、「健全化計画」と「改革プラン」の着実な実行に取り組んでまいります。 [市立病院事務部医事課]

・ 美サイクル館はごみの分別やリサイクルに先進的に取り組み、これからもお金がかかるとは思うが、生活している中で、これも留萌市の特色として誇れるものだと思う。	現在、平成25年度供用開始を目指し、留萌南部衛生組合においてごみ処理施設整備事業を進めております。 留萌市では、平成24年度中に美サイクル館において、容器包装リサイクル法に基づく紙やプラスチックの資源化施設が整備される予定となっているところであります。 [市民生活部生活環境課]
--	--

まちづくりと将来ビジョン

市政懇談会での意見(要約)	対応方針等[回答担当部署]
・ もっと将来を見据え、長いビジョンを持つての説明とリーダーシップの発揮をしていただきたい。	市では、第5次総合計画を平成19年度から28年度までの10か年にわたる長期の計画として策定しております。この計画を策定する過程におきましては、市民の皆さんのご意見を取り入れながら進めてきたところでございます。今後におきましても、懇談会などの対話やアンケートによる市民の想いを取り入れながら、総合計画に基づいた各事業を実施していきたいと考えておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。 [政策経営室企画調整課]
・ 留萌市は長期ビジョンを示していないのではなく、持っていないのではないか。ビジョンを持った上で市民のアイデアを募れば良いのではないか。	施設の適正な配置につきましては、各地域の方々や各団体のご理解とご協力が必要であると考えております。今ある施設の計画的な保全や修繕についても同時に検討しながら、市民の皆さんとの対話の場をつくり、意見や提言などを取り入れ検討を進めていきたいと考えておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。 [政策経営室企画調整課]
・ 施設は点在させるのではなく、集約すると相乗効果が出ると思う。	学校経営につきましては、よりよいものとなるよう取り組んでおり、今後も引き続き努力してまいりたいと考えております。 また、教育施設に関しましては、プールやスキー場など現在の留萌市財政から休止せざるを得ない状況となっておりますが、計画的に整備され、休止まで活用されていたものです。少しでも早く厳しい財政状況を乗り切り、利用ニーズなどを十分に見極めながら必要な施設は整備し活用してまいりたいと考えておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。 [教育委員会学校教育課]
・ 留萌管内の中で留萌市ぐらい中身のない学校経営、教育施設がない地域はない。	日東団地は民間業者によって開発された新興団地であり、主要道路が1本しかないため、沿線町内会から避難路造成の陳情書の提出を受けて、複数の道路計画を検討しましたがいずれも着工にはいたりませんでした。そこで、留萌市全体の均衡のとれた「道路網整備計画」を検討した結果、見晴通を「市内循環道路」として計画することを決定いたしました。整備にあたっては、これからも市民の合意形成を図りながら進めてまいります。 [産業建設部都市整備課]
・ なぜ見晴通りが必要なかわからない。避難道路は他の方法で作れないか。増毛をみても、街中に主要道路がなく、通り過ぎていく状況がある。	日東団地は民間業者によって開発された新興団地であり、主要道路が1本しかないため、沿線町内会から避難路造成の陳情書の提出を受けて、複数の道路計画を検討しましたがいずれも着工にはいたりませんでした。そこで、留萌市全体の均衡のとれた「道路網整備計画」を検討した結果、見晴通を「市内循環道路」として計画することを決定いたしました。整備にあたっては、これからも市民の合意形成を図りながら進めてまいります。 [産業建設部都市整備課]

若者のまちづくり	
市政懇談会での意見(要約)	対応方針等(回答担当部署)
・ 留萌まつりのお神輿などは、やはり地元の若者が元気に担いで練り歩くようであれば盛り上がりがない。こういったことに若者が積極的に参加できるような仕組みづくりが必要ではないか。	留萌神社祭は多くの市民が楽しみにしている一大イベントですが、「政教分離」の問題がありますので、市から祭りのあり方について意見を述べるのは差し控えていただきます。 [市民生活部生活環境課]
・ 東部公民館がコミセンに変わり、若い人は使いたいけど使用料がとられるのでなかなか使えない。また、運営資金がないため、開館日が限られ、何のためのコミセンかわからない。	東部コミセン運営協議会は、団体・サークルなどのコミュニティ団体の構成により自主的に運営がされております。 今後、さらに使いやすいコミセンを目指し、運営協議会と話し合いを始めてまいります。 [市民生活部生活環境課]
・ 最近の若い人たちは、ものすごくがんばっていると思う。JCにしても、商工会議所青年部にしても、色々なことに取り組んでいると思う。	地域の若い人たちによる様々な取り組みで街に活力を与えていただいております、新しい考えや行動による現況打破を何とか起こそう・現状を見直そうとの気概が感じられ、大変頼もしく思っております。 市といたしましても地域の活性化に繋がるこれらの取り組みに対して、後に繋がる人材育成にも期待しながら、今後も可能な限り支援を行ってまいりたいと考えております。また、市職員においても地域の活性化事業には、何らかの形でかわりを持たせたいと思っております。 [産業建設部経済港湾課]
・ 若い人が集まって、話ができる今日のような懇談会が必要ではないか。	対話の進め方についてはどのような形が良いのか、たくさんの意見をいただいた中で今後も検討を重ね、その時の状況に合った実施方法で開催していきたいと考えております。 [政策経営室企画調整課]

道路整備と景観について	
市政懇談会での意見(要約)	対応方針等(回答担当部署)
・ 家の周りの道路も穴があき、はっきり言ってひどい状況だが、毎年応急処置をしてもらっている。市も計画を立てて順番に直していてももらっていることや道路はお金がかかることは理解し、感謝もしている。	道路パトロールを行い、交通量が多く、緊急性の高い箇所から補修を行っています。また、抜本的な道路改良工事は「道路五ヵ年計画」により実施しております。 [産業建設部都市整備課]
・ 下水道や水道の工事をした部分が1年くらい経過すると沈下して見苦しい。また、市の担当者はきちんと業者のやることを監視してほしい。	下水道や水道管の設置は、各管理者が道路に設置する許可を道路管理者に申請して行っています。 道路管理者として各管理者に対し、管理を徹底し沈下をしないよう、また、沈下した場合は速やかな対応をするよう指導しておりますが、今後におきましても、各管理者と連携しながら、さらに徹底するよう指導してまいります。 [産業建設部都市整備課]

・ 市のプロジェクトとして雪を置ける空き地や公園を探し、利用するようにしてほしい。	公園については、草刈り作業を行う時や子どもが遊ぶ時に石等があると危険なため、融雪後にごみ・土砂等を清掃することを条件として、一部の公園で重機を使用した雪置き場として使用することを許可しております。 また、民有地や公共用地を使用し、市道除雪の雪を堆積している箇所は現在でも多数あり、道路に雪を堆積しないため幅員が狭くなりづらいメリットはありますが、堆積した雪の大部分は排雪しているため、市としての経費的なメリットはあまりないのが現状ですが、土地所有者の理解が得られる場合は、雪堆積場として使用できるか検討してまいります。 [産業建設部都市整備課]
・ 沿道の植栽が冬期間の除排雪等で削られる部分がある。町内会でせっかくやっても無駄になるので除排雪の方法について考えてほしい。	排雪時には、樹木柵の植え込みに留意しながら作業を行っていますが、更に重機オペレーターへ注意をするよう指導してまいります。 [産業建設部都市整備課]
・ 幌糠の歩道は除雪されていないため、小学生が狭くなった車道を歩かなければならない。片側だけでも開けるとか、何とかしてあげられないのかと思う。	川沿5号通りの歩道幅員は1.5mと狭く、歩道用除雪車で作業ができないため、現況では歩道除雪を行うことは困難でありますので、ご理解をお願いいたします。 排雪時には歩道の雪も排雪し、幅員確保に努めてまいります。 [産業建設部都市整備課]
・ 公園は町内会が管理しているが、植樹帯の管理は誰がやるのか曖昧になっているのではないか。秋期の枯葉対策など、道路をいかにきれいに保つかということを考えるべきではないか。	植樹帯街路樹の管理は造園業者に委託しています。また、秋の枯葉対策としてプラタナス等の大きな葉の樹木については秋口に枝葉のせん定を行い適正な管理に努めております。 [産業建設部都市整備課]
・ 商店街や市内の道路沿いにある空き地や空き家を利用して、花を植えることは考えられないか。	私有地については問題発生懸念がありますが、市有地では既に道路植樹柵を使つての花植えなどの取り組みが進められている地域もございますので、詳しくは市・生活環境課までお問い合わせ願います。 [市民生活部生活環境課]
・ 元川町の交差点は信号機を変えたことで渋滞になってしまい、前の方が良かった。	留萌開発建設部が工事を行い、公安委員会(留萌警察署)が信号機の待ち時間を調節しております。 [市民生活部生活環境課]
・ 見晴公園角の点滅信号がある交差点で冬期間に出会い頭の事故が多いので、通常の信号を設置してほしい。	周辺町内会とも実態を調査し、警察署に要望することといたします。 [市民生活部生活環境課]

市職員について

市政懇談会での意見(要約)	対応方針等[回答担当部署]
・ 市民も色々なことで努力しているが、病院も市も色々努力しているのを感じる。昔から比べると窓口の職員も親切で良いと思う。	「市民に信頼される市役所」「働く市役所」という目標を掲げて、サービスの充実や事業推進に努めております。

・これが普通で合格ラインではないか。ただ、一生懸命だとわかるし、市民のために働いているとは感じる。 ・知っている人や顔見知りの人と、あまり良く知らない人との対応の差がある。誰にでも同じく接するのが接遇ではないか。引っ越してきたので特にそう感じる場所があり、気をつけてほしい。	す。 窓口などの対応も、来庁者が不愉快な思いをしないよう、誰にでも丁寧、親切な対応を心掛けております。場合によっては、いたらない点もあるかもしれませんが、全ての職員に徹底するよう指導してまいります。 [総務部総務課]
・やめたいという職員が少し多いみたいだが、職員を大事にした方が良くと思う。	一人ひとりの職員を”財産”(人財)として、育成・評価し、その能力を十分発揮できるよう努めております。 [総務部総務課]
・職員の給料をなんでも下げれば良いというものではない。職員の意欲も低下し、まちの消費経済全体の衰退につながると思う。 ・職員の給料を下げるというのは、市役所も給料下げているのだから民間も下げると感じになり、市全体の水準が下がってしまうのではないかなと思う。	平成11年度から給与の削減を行い、平成21年度から新・財政健全化計画(平成27年度まで)の取り組みとして、職員の給与を20%削減しております。職員には、再生団体転落を防ぎ地域医療を守るため、力を合わせて乗り切っていくということで理解を得ております。この20%削減は、財政健全化の時限的措置なので、退職金については本来の支給額を基準に計算します。
・20%削減もいきなり20%ではなく、かなり前から少しずつ削減してきて、今が20%になっているということで、毎月の給料は削減されているが、元の金額は変わっていないので退職金は減らない。全てが20%削減ではないという実態もある。	消費面、雇用条件などの影響については、国の経済・雇用対策などとも連動しながら、市内の経済活性化や雇用確保、雇用条件の安定化に向けて取り組んでまいります。 [総務部総務課]
・職員も議員も、何十年もやって来たのに辞めると平気で他所の街に引っ越してしまう。まずはそういうのを考えてもらいたい。	退職後、家族との同居などのため留萌を離れる職員はいますが、多数は留萌に残っております。職員に限らず、留萌で永く安全、安心に暮らしていけるよう努めてまいります。 [総務部総務課]
・市民の生活に密着している現場への要望が当然多いが、職員が足りないこともあるのだから対応できていない。その要望などに迅速に対応できるように現場の職員を充実させてほしい。	職員数も毎年少しずつ減少させ、一般会計(市役所本体)では平成20年度に212名でしたが、27年度には179名の予定になっております。少ない人数でもサービスの質やスピードが落ちないように、組織機構を見直し、業務の改善や効率化、また、民間活力の活用や市民協働に取り組んでまいります。 [総務部総務課]
・今の財政問題の大半は病院の赤字にあり、留萌市民ばかりが利用している病院であればいいが、近隣のまちからも相当利用しているので、救急の費用だけではなく応分の負担を求めてほしい。	診療部門の内、救急・小児・周産期については一般的に不採算部門と言われており、留萌市立病院は増毛町から天塩町までの二次医療圏域のセンター病院として、年間365日、この不採算部門を担っております。これに対し、圏域市町村が連携・協力して救急医療体制を維持することで合意し、平成22年度から圏域市町村の負担により、留萌市立病院へ補助金を交付しております。今後は、小児・周産期医療に係る市立病院に対する支援の可能性について、圏域市町村との議論が可能かどうか検討してまいります。 [健康福祉部保健医療課]

・ 人件費を削減することで赤字を解消するのは簡単なやり方で、根本的な解決にはならない。	現在取り組んでおります新・財政健全化計画は、財政再生団体への転落回避と、地域医療（市立病院）を守ることを基本方針としてスタートいたしました。 この計画の内容につきましては、市民の皆さんには、固定資産税及び軽自動車税の税率アップ、受益者負担の見直しや施設の休止、各種補助金の廃止・縮小など、様々な面でご協力をいただき、また、市役所におきましては、市組織の一層のスリム化を図るとともに、職員給与費の削減を実施することにより、多額となってしまった市立病院の不良債務（赤字）の解消を図り、市民・職員が一丸となって市財政の健全化を図ろうとするものであります。 少しでも早く、休止中の市民サービスの回復や人件費の削減緩和ができるように努力してまいりますので、ご理解いただきたいと思います。 [政策経営室財務課]
・ 職員も一生懸命頑張っているのが見えるし、財政の健全化が達成されたら最初に職員の給料を元に戻すべきだと思う。	

イベント・伝統行事について	
市政懇談会での意見(要約)	対応方針等[回答担当部署]
・ 色々な考え方があり、あんどんまつりが伝統なのか、花火が伝統なのかという選択の問題もあるとおもう。・ 市民としては花火大会くらいやった方がいいというのは人情だが、縮小せざるを得ないという現状で、身の丈に合ったイベントにすることだと思う。	市の財政状況の悪化による補助金の廃止や景気低迷による協賛金の減少などにより、るもい呑涛まつりの運営も非常に厳しい現状にございますが、留萌の夏の風物詩として前身の商工港祭りから60年以上も続く伝統の夏まつりの灯を消さないよう、市民の皆さんの協力をいただきながら、まつりの事業内容の見直しや資金造成などにも取り組んでおります。特に、ここ2年間で中止している花火大会（規模を縮小した花火の打上は行っています。）につきましては、復活を望む市民の声も多いことから、今後も関係者の皆さんと一緒に検討してまいりたいと考えております。 また、まつりを支える資金造成を目的に開催した前夜祭につきましては、販売メニューの一部が売り切れになるなど、ご不満な点があったことにつきまして、お詫び申し上げます。好天に恵まれ予想を超えた来場者数であったことも一つの要因ではございましたが、今回の反省点を踏まえながら、多くの市民に楽しんでいただけるまつりとなるよう計画的な運営に努めてまいりたいと考えておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。 [産業建設部経済港湾課]
・ 呑涛まつりの前夜祭は売券方式だったが、終わり近くなったら自分のほしい物がなくて残った券を捨てていく人もいた。しっかり計画を立てて運営しないと、そういうことがあるともう行きたくないになってしまう。	
・ 呑涛まつりでも、萌っこまつりでも市民の声でやっているが、留萌祭りだけがそうではない。極端に経済状況が悪化しているのに寄附を集めるという昔の伝統を使っているが、やり方を変えないと行き詰るのではないか。	留萌神社祭は多くの市民が楽しみにしている一大イベントですが、「政教分離」の問題がありますので、市から祭りのあり方について意見を述べるのは差し控えていただきます。 [市民生活部生活環境課]

生ごみの処理について

市政懇談会での意見(要約)	対応方針等(回答担当部署)
・ 空地に生ごみの不法投棄が繰り返しあり、ひどい時には道路に置いて行く状況がある。同じ場所に何回も捨てられるということで、生ごみを袋に入れてきちんと出すことができない人が増えているのかなと感じてしまう。	平成13年に不法投棄防止とこれに対する敏速かつ的確な対応を行うことを目的に、留萌南部地区不法投棄防止連絡協議会を設置し、関係機関及び関係団体と連携しながらパトロール、広報啓発活動、情報交換を実施しているところであります。 しかしながら、不法投棄の件数は増加傾向にあり、さらに連携を強化し、不法投棄防止に努めなければならないと考えております。 [市民生活部生活環境課]
・ 周囲ではコンポスト化に取り組んでいる人も多いので、助成制度を含めてその辺の情報もほしい。	生ごみのコンポスト容器は、平成4年から補助制度を設けて一般家庭への普及を図ってまいりましたが、平成10年度には留萌市として生ごみの堆肥化を開始していることや、コンポスト容器の一定の普及が図られたこと、補助の申請件数が減少していることなどの状況により、平成11年度をもって補助制度を廃止しておりますが、生ごみの堆肥化による有効利用や減量化を図る観点からも、引き続き家庭でのコンポスト化などに取り組んでいただきたいと考えております。 [市民生活部生活環境課]
・ 登別の生ごみ処理施設では臭気もなくものすごくきれいな施設で、廃熱も全部プールに利用している。建設時に業者との契約の中に、10年間は消耗部品を無償交換するという条項もあった。他都市の良い部分は取り入れていく必要があると思う。	生ごみ処理施設につきましては、消滅型(アースラブ方式)により悪臭が発生しない処理方式を決定し、平成22年度に建設用地決定後、生活環境影響調査を実施し、平成23年度から平成24年度の2か年で建設工事を行う予定でございます。施設の建設に向け、道内の自治体の生ごみ処理施設を調査し、処理方式や建設費用、ランニングコストなどについての情報を収集しております。建設場所や時期については、地域住民の理解が必要なことから、小平町など関係機関と協議を進めることとしております。 [市民生活部生活環境課]

対話のあり方について

市政懇談会での意見(要約)	対応方針等(回答担当部署)
・ コミセン区分は何を根拠でこのように分けているのか。指定されているコミセンより他のコミセンの方が近い。	この度のコミセン区分につきましては、グループ分けの時に同じ地域の方が集中しないよう、おおよその目安として分けさせていただいたものでありますことを、ご理解いただきますようお願いいたします。 [政策経営室企画調整課]
・ 懇談会の説明は、中身をわかっている人では理解できるのかもしれないが、初めて聞く人にはさっぱり説明がわからない。	今後とも、市民の皆さんにわかりやすい説明に努めてまいります。 [政策経営室企画調整課]
・ 市は文書だけで何かするからお願いしますだけではだめで、例えば、町内には市職員もいると思うが、そういった身近な人からの声も聞かれない。町内会の役員とかともよく話をして、どうあるべきかを考えてほしい。	情報共有や情報発信については、どのような形が良いのか今後も検討を重ねてまいります。 また、事務事業の廃止・削減・見直し作業について

・ 市からのお願いや上から下ろすような話しがなく、押し付けられている感じが強い。無駄遣いを減らす取り組みだけで、何か良い所に増やすといった考えがないように感じ、一方通行で対話にはならないと感じる。	は、市の全事業にわたって検討し、優先順位を決めて実施しております。 [政策経営室企画調整課]
・ 市の財政が逼迫しているということが頭にあるので、何とか財政を健全化して、お金のかかるものは予算化することにつながる懇談会にしてもらえれば、もっと建設的な意見が出るのではないかと思います。	現在取り組んでいる新・財政健全化計画を着実に実行し、また、少しでも早く財政の回復ができるように努力してまいりますので、ご理解いただきたいと思います。 [政策経営室企画調整課]
・ 何か形式的な感じで幹部などが来ているが、そのような人には質問しづらいので、現場の係長とかが説明してくれた方がもっと質疑がしやすくなると思う。	
・ テーマが多すぎるので、町内会からテーマを出してもらって、その中に市からの情報提供、要望を1～2点くらい含めて開催するのでもいいのではないかと。	
・ お茶の間懇談会的に、小さな地域で回数を多く開催すればみんな出てくるし、色々な意見が聞けると思う。	対話の進め方については、どのような形が良いのか、たくさんの意見をいただいた中で今後も検討を重ね、改善するべきところは改善をしながら、その時の状況に合った実施方法で開催していきたいと考えておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。
・ 大人数での懇談会ではなかなか発言できないが、今日のように小規模なグループであれば発言しやすくていいが、前もってテーマを知らせてもらった方がより効果的であったと思う。自由討議には時間が足りず、やはり2～3時間はほしい。	また、現場の職員などが地域に伺う「お茶の間トーク」も実施しておりますので、ぜひ活用していただきますようお願いいたします。 [政策経営室企画調整課]
・ 今回のテーブル配置では、隣のテーブルの声が聞こえてきて発言者の声と重複するので、今後はテーブルの配置をもっと離してほしい。	
・ 今回の懇談会のやり方は良いと思う。毎回ではなく、たまに、例えば同じ委員会でも人を変えて見たり、若者や女性などのようにある程度範囲を絞ったりすると、色々な意見が聞けていいのではないかと。	
・ 高橋市政になってからは、すごく市民との対話を大事にして数多く懇談会が開催されており、非常に評価している。そのことを全てオープンにして優先順位云々と言うのではなく、もらった意見を市の内部でしっかりと議論してやるべきことを選択して実現してほしい。	ご指摘の点を重く受け止め、皆さんからいただいたご意見を職員でしっかりと共有し、議論を重ねながら、政策に反映できるものは反映させていきたいと考えておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。 [政策経営室企画調整課]
・ 市の広報紙は色々なことが載っていて良いが、字が小さく高齢化の時代に合わないので、字を大きくして読みやすくしてほしい。	今後とも、記事の量と文字の大きさのバランスを考え、より分かりやすく、読みやすい広報紙の作成に努めてまいります。 [政策経営室企画調整課]

採用されてすぐの職員は無理かもしれないが、せめて採用5、6年くらいの職員にはもっと町内会の集まりに出て意見を述べるような積極性がほしい。色んな意見を聞いて職場で報告してほしい。	平成21年11月現在、市職員約100名が町内会役員についております。 町内会や地域の行事には、これまでも多くの職員が参加するようにしておりますが、今後も、市民とともに汗を流し、交流やコミュニケーションを深め、市の施策展開に役立てるよう努めてまいります。 [総務部総務課]
協働の会議に出ているが、型に決まったような感じであのやり方は良くない。今日のように自由に討議することも必要だと思う。	自由に対等の立場で意見が言える作風づくりに努めてまいります。 [市民生活部生活環境課]

防災連絡員の活動について

市政懇談会での意見(要約)	対応方針等(回答担当部署)
防災を進めるため、町内会の個人情報が多いが入手できなく、活動が進展しない。	市の防災計画では、障がいのある方など災害弱者といわれる方々を対象とした避難支援プランを策定することになっており、現在、策定作業を進めております。 プランに基づき、個々の方々の同意を得て、必要な個人情報も含めた個別プランを策定することとなります。 それ以外の個人情報につきましては、地域の方々に防災活動をご理解いただき、各町内会(地域)で自主防災組織を設立され、名簿の作成、情報の収集に努めていただきたいと思います。 [総務部総務課]
防災マップを早く完成させて、完成したら全戸に配布してほしい。	平成23年度に津波ハザードマップと洪水ハザードマップを作成し、対象地区の方々に配布することといたしておりますので、ご理解をお願いいたします。 [総務部総務課]
避難所の位置を年に何回か、広報紙などで知らせてほしい。	避難所等につきましては、防災週間に合わせて、毎年、広報9月号に掲載しております。また、ホームページではいつでも見られるように掲載しております。 広報紙への掲載回数の拡大につきましては、紙面スペースの課題もありますので、今後、検討を行ってまいります。 [総務部総務課]
地盤の低い所に住んでいる方が数件あり、雨が降ったときには心配で、防災の支援体制を考えてほしい。	町内会の役員会などに参加させていただき、避難の方法や市の役割などの話し合いを進めたいと考えております。 [総務部総務課]

・ 防災の放送が反響して何を言っているか分からないので改善してほしい。	防災行政無線の屋外拡声器は、以前より「放送が聞きにくい。」というご指摘を受けております。 今後も、放送する際の声の発声、間隔等の方法を工夫するなど、聴きやすい放送に努めてまいります。 また、FMもえるや広報車を通じての放送も行っておりますので、ご理解をお願いいたします。 [総務部総務課]
・ 防災活動では実際に災害になった時の対応や連絡などが課題で、市でも、高齢者や障害のある人などの避難対応マニュアルのような物や研修会、防災連絡員の訓練などを開催してほしい。	市では、対象地域を指定して行う市民防災訓練のほか、自主防災組織や町内会単位での防災訓練のお手伝いを行っております。 また、避難対応マニュアルなどは、市のホームページに掲載している以外に、防災訓練等の時に担当者が出向き説明することも行っております。 平成23年度には、防災連絡員の方々を対象とした情報伝達訓練を計画しておりますので、ご協力をお願いいたします。 [総務部総務課]
・ 消防団に入る若い人が少なく無関心で、団員も少なくなっている。他町のように職員になったら消防団に入るというくらいのことをしなければ、団員は集まってこない。	自然災害等の大規模災害時では、市職員は災害対策本部の要員として住民への対応に従事するため、消防団員としての活動には制約を受けることとなります。このことから、市職員が消防団員となり活動することには難しい状況があると思います。 消防団の人的増強を図るためには地元企業、事業所の消防団活動への協力を通しての社会貢献に対する理解を深めていただくことが重要であり、平成22年度に消防団協力事業所認定制度を導入しました。機会を捉えてこの制度の趣旨を広く伝え、消防団員数の確保につなげてまいりたいと考えております。 [消防本部総務課]
・ 日東団地の避難路の整備がされていないので、千鳥町まで抜けなくても、せめて入り口だけでも拡幅してほしい。	入り口の拡幅だけでは、地域が抱える問題の抜本的な解決にはつながらないので、都市計画道路を計画したことをご理解いただきますようお願いいたします。 [産業建設部都市整備課]
・ 週に数日しか開いていないコミセンにAEDを設置しているが、いざという時に使えない状態の所に設置するより、民間の施設であっても大勢の人を守るために有効な場所に設置することが必要だと思う。	現在のコミセン運営上やむを得ない面もありますが、周辺の他の公共施設とも調整してまいります。 [市民生活部生活環境課]
・ お祭りの防犯活動もやっているが、警察と歩いている時でも何かあったら責任取れないから注意するなということで、ただ集団で歩いているだけになっている。ある程度の権限を与えてくれるなどがあれば活動内容も変わってくると思う。	地域安全活動推進委員は祭典時や夏季海水浴場パトロールを行っております。 不審者や不審事項を発見した時は速やかに警察署等へ連絡することとしており、身体に危険が伴う活動については差し控えております。 [市民生活部生活環境課]

民生児童委員の活動について

市政懇談会での意見(要約)	対応方針等(回答担当部署)
---------------	---------------

・ できれば町内会単位で1人、大きい町内会では2人が望ましい。1人で200世帯を持つのは難しい。	民生委員・児童委員の配置については、民生委員法並びに民生委員・児童委員配置基準が根拠となりますが、住民に対するサービスが適切に行われるよう地域の実情を踏まえ、次回の改選期に向けて民生委員協議会と意見交換しながら見直しを検討してまいります。 [健康福祉部社会福祉課]
・ 今回改選になるが2つの地区が未定のままで、市の方も空白地区ができないようもっと一生懸命取り組んでもらいたかった。	町内会をはじめ地域住民のご協力を頂きながら、基準に基いた配置となるよう努めております。空白地域につきましては、引き続き町内会や民生委員協議会と連携を図り、完全配置に努めてまいります。 [健康福祉部社会福祉課]
・ 色々な状況の変化で、活動ではみんな苦勞しているようだ。市の職員もどんどん減って行って頼むのは民生委員にとなっているが、その辺の苦勞は理解してくれていないと思う。	社会奉仕の精神で、常に住民の立場に立って相談や援助を行い、社会福祉の増進にご尽力されていることに敬意を表するところでございます。 近年の社会・経済情勢により、生活保護の相談や高齢者の安否確認、更には児童虐待など民生委員・児童委員の重要性は高まっております。引き続き地域住民に対するサービスが適切に行われるよう、深いご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。 [健康福祉部社会福祉課]
・ 高齢者の安否確認や虐待の発見など、権限がないとスムーズに出来ない。	平成18年に高齢者虐待防止法が施行され、各関係機関と連携協力体制を取り、迅速に対応するよう定められており、市町村では緊急時の立入調査の権限を持っております。 当市では、地域包括支援センターを中心として、民生委員や各関係機関で構成された虐待防止ネットワークを設置し、情報交換や早期発見・対応のため連携を取っておりますので、今後、地域で問題が起きた場合には連絡をお願いいたします。 [健康福祉部介護支援課]
・ 活動する中で個人情報の関係が壁になり、近所の人もなかなか話してくれず、過剰反応を示している感じがある。我々も守秘義務は負っているのに、その事を公に周知して壁をなくする取り組みや、市が中心になって一定のルールづくりを進め、例えば独り暮らしの人など提供できる情報は出してもらえると助かる。	行政として法律を守るというルールがある中で、法に抵触しない情報を提供することは可能と考えています。 今後、どの情報が提供可能なのか、法制担当や関係各課と検討すると同時に、民生委員・児童委員の活動に理解を深める取り組みを一層強化するよう検討してまいります。 [健康福祉部社会福祉課]
・ 市住の出入りがあったときに教えてほしいと市にお願いしたが、個人情報の関係で教えてくれなかった。何号室が入れ替わった程度の情報でも助かるのに、出入りがあったくらいは個人情報でも何でもないと思う。活動に支障が出ているので、せめてそれくらいはお願いしたい。	市住については、問い合わせをする方の身分と目的を確認した上で、これまでも問い合わせがあった場合には入れ替わりがあったなど、個人情報に触れない程度の範囲での情報提供はしておりますが、今後においてもどのような情報提供が可能なのかについて、関係各課と検討をしてまいりたいと考えております。 [産業建設部都市整備課]
・ 実際に災害が起きた時に高齢者をどう避難させるのか、いつもどうしたら混乱なく避難させられるのかと考えている。	市では、自主防災組織や町内会単位での防災訓練のお手伝いのほか、災害対応につきましては地域に向いての各種相談や説明を行っておりますので、ぜひご利用していただきますようお願いいたします。 [総務部総務課]

健康いきいきサポーターの活動について	
市政懇談会での意見(要約)	対応方針等(回答担当部署)
- 健康に関する取り組みは先進的で、留萌市は素晴らしいと思う。町内会で健康講座をやろうと参加人数を知らせるとすぐに講師が来てくれ、地域の健康を守るという面で非常に良い取り組みだと感じている。 - 健康の駅オープン前に、町内会の老人クラブに病院の多田先生に来てもらい、説明や質疑応答をしてもらった経緯もあり、例会などでも年に2回ほど来ていただいている。また、うちの地区は一番近いから、お手伝いしますよと宣言している。	地域単位でお互いの健康を気遣いながら、健康力を高めていくことが重要であり、そのためのサポート支援を引き続き、官民連携しながら講じてまいりたいと考えております。 [健康福祉部コホートピア推進室]
健康教室というのがあり、毎月会場を割り振りして今月はどこでというように開催されていて、健康の駅でも年に何回か開催されているが、なかなか良いものである。	健康の駅では、健康に対する身近な知識や、健康への目利きとなる住民を1人でも増やすため、定期的な健康講話等を開催しておりますので、お気軽に参加いただきますようお願いいたします。 [健康福祉部コホートピア推進室]
自分の町内会では、健康の駅を利用する人がまだまだ少なく、せっきくの施設なので、皆さんで頑張って利用していけるようになってほしい。	町内会の事業等でも活用できるメニューを取り揃えておりますので、ぜひ利用いただきますようご案内いたします。 [健康福祉部コホートピア推進室]
ボランティア団体”市民アイビーの会”では高齢者の方が集まって健康維持に努めているが、活動がマンネリ化してくるので、新しい情報がほしくて情報交換をしたいが、行政で把握している情報があるならば、場を設けていただくなどの手助けをお願いしたい。	情報提供は可能であり、各団体から依頼があった段階で随時対応してまいりますので、まずは相談をお願いいたします。 [健康福祉部介護支援課]
健康の駅の事業などはすばらしいが、バスなど交通の便が少ないので、車がない人は行くことが大変だ。何とか公共交通機関の対応ができないだろうか。	沿岸バスのご協力により、健康の駅前バス停が設置されております。 全ての便が停車できないことに、ご理解いただきますようお願いいたします。 [市民生活部生活環境課]

環境美化推進員の活動について	
市政懇談会での意見(要約)	対応方針等(回答担当部署)
クリーンステーションが木製に一部変更されているが、市内すべて変更されるのだろうか？何年くらいで変更するのだろうか？後日、回答をいただきたい。	平成21年度の「地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業」を活用し、沿岸地区の塩害で錆、腐食が激しく補修困難なものと市街地区の同様な状態のものを木製に一部変更しております。 平成22年度の緊急雇用創出推進事業を活用して行う「ごみ適正排出指導等事業」の中で、クリーンステーションの適正な維持管理を行うための調査を実施しております。 今後は調査結果を参考にして、クリーンステーションの更新計画を検討してまいりたいと考えておりますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。 [市民生活部生活環境課]
クリーンステーションが壊れて補修ができないようながあるので、毎年計画的に更新をしてほしい。	

・ クリーンステーションのペンキは、以前は油性の物を配布してくれていたのですが、今は水性に変わってしまったので1年ももたない。その辺も考えてもらいたい。	クリーンステーションは市と町内会等の協働によって管理をお願いしているところであり、今後とも町内会や環境美化推進員の皆さんと連携を取りながら、クリーンステーションの良好な使用のための管理体制の確保を進めて行きたいと考えております。 [市民生活部生活環境課]
・ 市の担当職員がこまめに回り、ステーションの修理などを指導してほしい。	午前9時からごみの回収を開始するため、市民の皆さんには全てのごみを午前9時までに排出するようお願いしております。
・ ごみの出す時間が9時までと決まっているが、実際に取りに来る時間は全然遅いので、もっと柔軟な排出時間にできないものか。	ごみの中に不適ごみが入っていた場合、指導書を当該ごみ袋に貼付をし、また、市の方で把握したものは戸別に指導をしています。 地域の環境保全やごみの適正処理を推進するため、町内会や環境美化推進員の皆さんとの連携を図り、行政と地域が一体となった活動を進めてまいりたいと考えております。 [市民生活部生活環境課]
・ 最近、不法投棄やルールを守らないごみ出しが増えてきているので、市からの指導も必要ではないかと思う。	クリーンステーション付近に大量の雪を置かないよう指導はしていますが、まったく雪を置かないで除雪するのは、時間的にも困難であるため、取りきれない雪は町内会のごみ当番の方々の除雪をお願いいたします。 [産業建設部都市整備課]
・ ルールを守らないごみ出しがあった場合、原因者が分かれば文章で注意することがある。実際にはないが、注意した相手からこんな権限があるのかと言われると困ってしまう。	
・ 冬季間の除雪で、クリーンステーションの所にも雪を置いて行くのが見受けられ、高齢者になるとステーションの管理も大変なので、委託業者への配慮をお願いしてほしい。	